

2020 年度 自己評価 結果及び対策・改善報告書

| 評価項目 | 評価結果 及び 対策 | 改善結果（進捗状況） |
|---------------|--|---|
| I、環境・体制整備について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナの感染対策として、マスクの着用、手指消毒、活動前後の消毒に加え、活動や食事時の方法や配置などで3密の回避を行ってきた。また、館内へのウイルスの持ち込みを極力減らす目的として、県や市の感染レベルを目安に子どもの預け入れや引き渡しを玄関で行う、部外者の立ち入り制限などの対応を取らせていただいた。 ・ 行事については、感染予防の観点から目的を再確認したうえで、必要な行事は場所や人数、やり方を工夫して実施した。 ・ 今年度はじめ、教材やおもちゃ等の物品が増え、昨年度末に大掛かりな倉庫の整理を行った。係を中心に定期的な整理の時間を取っているため、使いやすい状態を保っている。一方で、療育訓練室については毎日の清掃・消毒はしっかりと行っているが、収納場所については限界もあり、物品を効率よく収納するためには工夫が必要であると思われる。 ・ 職員体制については、今年度も基準を上回る配置をしている。また、3名のボランティアさんの協力もあり、子ど | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策を取る中で生じる保護者の不安やご意見に答えられるよう、クラス便りの発行や日々の活動のお知らせ、保護者とクラス担任との面談の実施などを積極的に行ってきた。 ・ 行事の必要性を吟味したうえで、必要なものは感染対策を講じ、やり方を再構築しており、これまで感染者を出すことなくサービスが提供できている。次年度も感染対策への意識を高く持ち、取り組んでいきたい。 ・ 子どもも職員も、安心・安全に過ごせるよう、定期的にクラス内の整理整頓が行えるよう、取り組んでいきたい。 ・ ボランティアさんの受け入れについては、職員同様の感染対策にご協力いた |

| | | |
|---------------------|---|--|
| | <p>もたちや職員にとって大きな力になっている。</p> | <p>だきながら安全に参加していただけるよう配慮している。引き続き、主活動や昼食時など、より支援の必要な時間帯の充実を図りたい。</p> |
| <p>II、業務改善</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度、業務の見直しと整理を行い、マニュアルにまとめてきた。今年度は作成したマニュアルを利用しながら業務が進められるように取り組んできたが、十分に活用できていない面もあった。マニュアルは年に1度見直しをかけるようにしている。 ・ 今年度は療育をテーマにした職員（正規職員、パート職員）の勉強会も行ってきた。職員間でいろいろな意見を聞いたり伝えたりまた確認しあう機会はとても貴重でよい時間となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成したマニュアルの周知とそれを活かした業務遂行ができるよう、進捗の確認や中間報告などを取り入れながら進めていきたい。毎年マニュアルの見直しを通して更なる業務改善につなげていく。 ・ 職員自身の専門性を磨いていくために、様々な分野での学びが必要であるため、次年度も継続して研修計画に盛り込み実施する。 |
| <p>III、適切な支援の提供</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 客観的なスケールを使用し、子どもの発達段階を評価、クラス編成を行っている。今年度は4月の新規児が21名と多く、細かな部分が見えない中での編成となった。クラス課題と児の発達段階とのずれが生じる場合には保護者様の意見も伺いながら適宜クラス異動を行った。 ・ 多角的な評価を行うため、保育所等訪問支援担当者や作業療法士、言語聴覚士等の意見も取り入れたカンファレンスを行っている。今年度は医療機関との連携が十分には行えなかった。 ・ 療育活動の内容については、年間目標を下に年間3期の目標、月ごとの目標を設定し取り組んでいる。内容は月に1度のクラス会議で検討したのち、十 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 半期に一度発達スケールの確認を行うとともに、保護者の気持ちをお子さんに合ったクラス編成と療育を実施していけるよう、取り組んでいきたい。 ・ 個々のカンファレンスにおいては、今後も引き続き同様に行っていききたい。また、関係機関の意見も取り入れていけるよう、連携を図っていく体制を整えていきたい。 ・ 療育活動については、勉強会で学ぶ機会を作ることや、日々のカンファレンスのやり方、話し合いの参加 |

| | | |
|-----------------|---|---|
| | <p>分な時間が取れないため、具体的な設定や支援内容についてはクラス職員が行う体制である。日々の振り返りは担任間で行っているため、客観的な評価が入りづらい面がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、地域交流として位置付けていた幼稚園との交流が実施できなかった。しかし、一人一人の地域とのつながりは、保護者の願いを聞きながら地域園への見学や母子通園での入園などで実現できたお子さんもあった。 | <p>者の選定など工夫し、効果的に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域交流については、一人一人の発達や保護者様の願いを確認しながら、今後もその子に合った地域との交流を図っていきたい。 また、地域防災の観点から、今後も近隣園や施設とのつながりを作っていきたい。 |
| IV、関係機関や保護者との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会への参加、関係機関（園、学校、医療機関）との連携、必要時連携を行っている。特に、園との連携は、就園、就学支援に合わせて児発管のみでなく、クラス担任が積極的に行っている。クラス担任と児発管だけで情報を共有しているケースが多く、かるみあ全体での共有ができていないことは課題として残る。 今年度は、待機児を対象にペアレントプログラムを行った。（支援者養成研修と兼ねて実施した。） | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係機関との連携を行い、また必要時職員間での周知を図っていくことも意識していきたい。 ペアレントプログラムについては、次年度も実施していき、今後は職員の研修体系としても組み込んでいきたい。 |
| V、保護者への説明責任等 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日、送迎時に保護者様とクラス担当者間でお子様の様子について情報交換を行っている。また、毎月希望制でクラス担当者との面談(キラキラタイム)も行っている。クラスによっては登録者数が多く、保護様のご希望に添えない状況もあった。また希望されない方は一度も実施できていない状況もあった。 | <ul style="list-style-type: none"> 次年度も同様にキラキラタイムを実施していく。公平性も大事にしながら次年度はキラキラタイムの実施ができるようにしていきたい。 |

| | | |
|------------|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナの感染対策のため、保護者同士顔を合わせる機会自体はあったものの語り合う機会としては少なくなってしまった。 今年度は新型コロナ感染対策のため、びゅあ祭りを中止など、かるみあ主体で地域の方と交流する機会を持つことが難しかった。しかし、「親子で遊ぼう会」では社会福祉協議会でスポーツ振興課の方のご協力の下、保護者交流の行事をともに行うことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者同士、もっと情報交換したい、話したいという希望をかなえていけるよう、次年度工夫を凝らしていきたい。 今年度も様々な活動を通して地域を知ってもらう、地域に知ってもらうことができればと思う。 |
| VI、非常時等の対応 | <ul style="list-style-type: none"> 毎月の防災訓練に加え、洪水を想定した避難訓練、不審者訓練等、実施した。実施の予定について、毎月保護者にも周知を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 同様に様々な想定での訓練を実施していくことと、保護者への説明も丁寧に行っていきたい。 |

(まとめ)

かるみあは、“多職種の専門職”がチームとして協働し、アセスメントから活動プログラムの立案・実施・振り返りを行い、丁寧な療育が出来るよう努めています。「お子さん自身の健やかな発達とそこにある保護者様の想い」を中心に、対話を大切に日々関わらせて頂きます。又、関係機関との連携を通して、お子さまや保護者と共に、就園・就学、地域への参加等積極的にサポートしていきます。

今年度は新型コロナウイルスの影響で子どもたちの受け入れ、環境調整、行事の実施すべてにおいて感染対策を講じた内容検討が必要となりました。どのような時も保護者様の想いに耳を傾けられる一職員であり、一施設でいられるよう取り組んでいくことを大切に、施設としてできる限りの対応をしてきました。

次年度も引き続き感染予防対策を徹底したうえで、お子さんや保護者様により充実した療育や行事の提供ができるよう努めます。そして就園・就学やその他さまざまな機会を通して地域やその子のライフステージ、また保護者様同士をつなぐ支援として更に具体的な取り組みをしていきたいと思ひます。